

滋賀の教育大綱

(第4期滋賀県教育振興基本計画)

(素案)

～中学生・高校生のみなさんに向けて～





①教育大綱たいこう？教育振興基本計画？



- 教育大綱と教育振興基本計画は、都道府県・市町村やその首長が定める、教育に関する基本方針・計画として、別々の法律で規定されているものです。滋賀県では一つのものとして策定しています。



- 現在の計画が令和5年度(2023年度)で終わるため、令和6年度(2024年度)以降の新たな計画を検討しています。令和10年度(2028年度)までの5年間の計画とすることを予定しています。





②どんなことを目指すの？



- 豊かな心を持ち、たくましく、未来を切り拓いていく人を育てていくことを最も重要な目標としています。
- 近江商人から受け継いだ「三方よし」という考え方にならって、教育を通じて、子どもたち、先生たち、地域のみなさんの、それぞれの幸せの実現を目指しています。
- 教育を進めるに当たって、「愛情」、「主体性」、「滋賀」を大事にしています。





③私たちの学びはどんなふうになるの？



- 国語の「読み」「書き」のような**基本**はもちろん、文章や言葉を「**読み解く力**」などの「**確かな学力**」が身に付くように学びます。
- 学校生活を通じて、自分を大事にする心(**自尊感情**)や、周りの人と上手に付き合えることができる力などの「**豊かな心**」を育てます。
- 運動が好きになったり、食事に関する理解を深まるように、体育などで学び、「**健やかな体**」を育てていきます。



将来



④将来に向けて、どんな学びをするの？



- 「主権者教育」で社会や政治のしくみを学び、社会の一員として参加していくための準備をします。
- 社会見学や仕事の体験をはじめとした「キャリア教育」などで、将来の働く自分の姿を具体的にイメージできるように学びます。
- コンピュータなどのICT(情報通信技術)を使いこなし、デジタル社会の一員となるための学びをします。





⑤教室の外ではどんな学びがあるの？

- 小学5年生のみんなが乗船する「うみのこ」など、滋賀県の自然、歴史や文化を学びに生かします。
- 「中学生チャレンジウィーク」など、地域みなさんにも御協力をいただき、体験的な学びを行います。
- 中学校や高校でみなさんが取り組む部活動を支援します。





⑥どんな先生たちから学んでいくの？



- 子どもたちの**笑顔**のために、先生たちの**やりがい**と**笑顔**があふれるようにします。そのために、先生たちの健康や働きやすさ、私生活をしっかり支えます。
- 先生はもちろん、他にも**様々な専門職員**が協力して、子どもたちの学校生活を支えます。
- **魅力的な仕事**として、滋賀県の先生を目指す人を増やします。先生になってからも、**研修**や**先生同士の教え合い**で力を高めていきます。





⑦私たちの学校生活はどのようになるの？



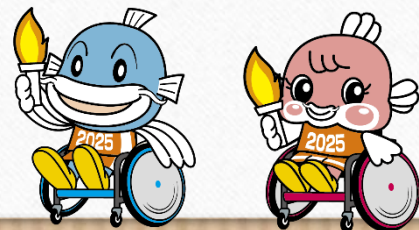
- 安心して学びを進めることができるように、いじめの防止が徹底されたり、相談体制が確保されています。
- パソコンやタブレットを使った学習のための環境が整っています。
- 大人になって活躍していけるように、県立高校の魅力が高まって、様々な特色のある学びができるようになります。
- 幼稚園、保育園、認定こども園と小学校が協力して、幼稚園等で学んだことが、小学校になってからも生かされます。

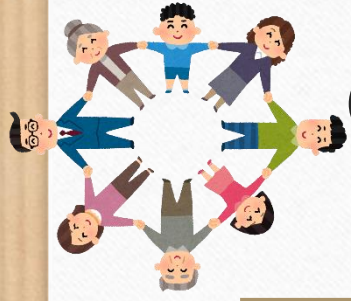


⑧障害のある子どもの学びはどうなるの？



- 障害に応じて学びに取り組むことができるように、専門知識を持った先生がきめ細かく指導します。
- 障害のある子ども一人ひとりの学びや支援のための計画を作り、成長していく中で切れ目なく支えていきます。
- 地域の学校と養護学校の両方に所属するしくみなど、障害のある子どもと障害のない子どもと一緒に学ぶことができる様々な選択肢を用意します。





⑨地域や家庭での学びはようになっていくの？



- 地域の学習講座などを企画・運営する人を育成するなど、**地域でみんなが学ぶ機会が充実**するように取り組みます。
- **地域の人々と話し合っ**て学校を運営したり、**地域と学校が協力**して子どもの学びを支えます。また、部活動の指導も、**地域の人々に協力**していただきます。
- **家庭の様々な状況を地域ぐるみ**で支えて、「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣や、**家庭での学習習慣**を定着していきます。





⑩読書のためにどんな取組をするの？



- 子どもの頃から読書が習慣になるように、保護者の読書への理解が深まるように取り組みます。
- 地域の図書館と学校図書館が協力して本を充実したり、子ども同士で本を推せんし合ったりするなど、本に触れるきっかけづくりに取り組みます。
- 図書館を生かしたまちづくりや、身近な環境で本に親しめる、子どもを中心にした図書館づくりを目指していきます。





⑪家庭環境などで学ぶことが難しい人を どうやって支えていくの？

- 福祉の専門家と学校が力を合わせるなど、社会のみんなで、**学びから誰一人取り残されないように支えていきます。**
- 日本語で学ぶことが難しい子どもたちに、一人ひとりの状況に対応した指導を行います。
- 不登校の状態の子どもたちに、それぞれのケースに合わせて支援したり、その子どもに合った**学びの居場所の確保**を目指します。
- 中学校卒業後に、**もう一度義務教育を受けたい人が学ぶことができる機会**を実現していきます。



An illustration of a classroom. At the top is a green chalkboard with a wooden ledge. On the ledge, there is a small yellow and blue eraser. Below the chalkboard is a wooden podium. In the foreground, there are several yellow desks with blue chairs. The entire scene is set against a light-colored wall.

みんなで力を合わせて学び、
豊かな未来を築こう！